NPO法人 子どものいのちを守る会 https://empowering-children.tokyo/

Protect
Children's
Life

Empowering Children

11/ 2021
令和３年 11 月号
2021 November

皆さん　お元気ですか

我々 NPO もこどもの命という事で命の尊さ活動を進めていますが、今回のコロナで多くの命が失われています。それに伴い世界中で格差問題から人権問題、不平等、暴力が起こっています。これらの脅威に対し、欧州復興開発銀行総裁、フランスの経済学者で思想家のジャックアタリ博士が、' 命の経済' という言葉を発信していますのでその要旨を紹介します。

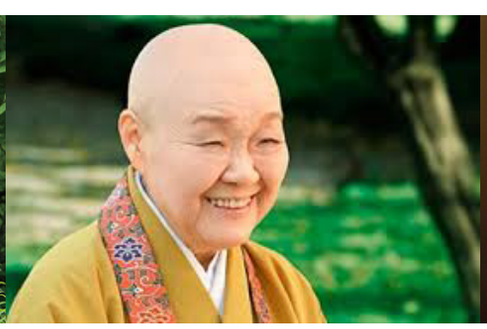
「この脅威に対し、我々は将来のヴィジョンをうまく描けずにいる。重視すべきは利他主義（Altruism）の概念だ。（利他の心は我々 NPO の基本概念です。）利己主義の蔓延は人類の将来を危うくするが、利他主義の浸透は全ての命を幸せにする。考慮すべき' 他者' には、動植物や将来世代も含まれる。我々は利他主義を通じて社会をより積極的に変革すべきだ。私は、健康や教育等、ポジティブな社会の実現に寄与するセクターを ´ 命の経済' と名付けた。現在、世界の生産高に攻める命の経済割合は半分程度。今後は 80%程度まで引き上げる必要がある。今、何よりも求められているのは、次世代の幸せを見据えた振る舞いだ。こどもこそが人類の光であることを忘れてはならない。」と話されています。

日本でも稲盛和夫さん（日本の実業家：京セラ・KDDI 創業者、日本航空名誉会長）が' 利他の経営' 即ち利他の心を瀬戸内寂聴さんとの著書（利他ー人は人のために生きる）の中で対談されていますが、Harvard 大学でのビジネスレビュウ講座、立命館大学でも稲盛経営講座があり、経営にも利他の心を判断基準にすることが大切とあります。

私たちの心には' 自分だけが良ければいい' と考える利己の心と、' 自分を犠牲にして他の人を助けよう' とする利他の心があります。利己の心で判断すると、自分事しか考えないので、視野も狭くなり、間違った判断をしてしまいます。一方' 利他の心は' 人に良かれ' という心ですから、皆の協力も得て、視野も広くなるので正しい判断が出来るのです。思いやりに満ちた' 利他の心' に立って判断すべきと、語っておられます。

ジャック　アタリさんと同じ考えです。我々も利他の心を継続は力なりで実践してまいりたいと思います。

代表



NPO法人
子どものいのちを守る会

〒162-0805
東京都新宿区矢来町 123　矢来ビル 3F　Tel. 03-5227-1877

お問い合わせ
kdm.mamorukai@gmail.com